

## 第41回（令和5年度第4回）横須賀市立病院運営委員会 議事録

日 時 令和6年（2024年）1月18日（木）10時00分から11時00分まで  
場 所 ウェルシティ市民プラザ3階 第1研修室  
出席委員 土屋委員長、三屋副委員長、岩田委員、波多委員、半澤委員、山岸委員、  
渡邊委員  
事務局 夏目健康部長、小澤市立病院課長、広瀬課長補佐、中川主査、藤岡  
傍聴者 3人

---

### 1. 開会

### 2. 議事

#### （1）横須賀市立病院経営強化プランについて

事務局から資料の説明を行った。

質疑については以下のとおり。

#### ◎土屋委員長

事務局からの説明に対し、何かご意見ありますか。

#### ◎波多委員

市民病院に新たに作ろうとしている総合診療科は、既にもうわまち病院にはあるのでしょうか。

#### ○事務局

うわまち病院には既にあります。お配りした資料の3ページ目に記載されていないのは、総合診療科が標榜科ではなく、院内標榜だからです。

#### ◎岩田委員

資料9ページ目の「オ. 横須賀市内の分娩件数及び受け入れ可能件数」についてですが、表の見方として、令和5年度うわまち病院は350件の分娩を受け入れられたが、実績は110件だったということでしょうか。

#### ○事務局

350件はお見込みの通りです。110件は5年度の見込み件数なので、実績ではありません。

#### ◎岩田委員

要するに、うわまち病院の分娩受け入れ件数にはそれだけ余力があるということですね。

#### ○事務局

その通りです。

#### ◎岩田委員

資料の中で、産科、小児科の医師数は増加傾向にあると記載されていますが、これは全国

区の話です。これを地域ごとに細分化すると、その地域特有の課題が見えてきます。市立2病院においては、総合医療センターが開院するタイミングで病床数や診療科の見直しを図り、その一環として産科、小児科を総合医療センターに集約、拠点化するというのをこの委員会に投げかけているということによろしいでしょうか。

#### ○事務局

その通りです。なお、横須賀市の小児科医は増加傾向にあり、産科医は2014年をピークに減少しています。神奈川県は、産科、小児科医ともに増加傾向にあります。

#### ◎岩田委員

市民病院に総合診療科を設けることについてですが、賛成です。大学病院ではだいぶ前から導入されているものですが、人間の身体は千差万別、体調を崩した際、自分の身体のどこが悪いのかわからないことも多いです。そんな中、総合的に診てもらえる診療科があることは心強いと思います。これは意見なので事務局からの回答は求めません。

#### ◎山岸委員

市民病院の産科、小児科を総合医療センターに集約すると、地図で見ると西行政センターエリアからのアクセスが悪くなる印象です。現状、市民病院を受診している方の件数こそ少ないものの、通いづらくなるという点は課題だと感じます。また、市民病院から産科や小児科をなくすことは、子育て支援に対する市の姿勢とも捉えられる側面を持っています。これはここで議論することではないかもしれませんが、例えば、路線バス会社に対し総合医療センターと市民病院を結ぶ路線の増設をお願いしたり、突発的な通院が必要になる妊婦に対し、行き先が総合医療センターに限定されたタクシー券を配布したり、課題解決に向けた動きもセットで検討する必要があると思います。市民に対しては、そういった支援策も含めて丁寧に説明していただきたいと思います。

#### ○事務局

ありがとうございます。アクセス面については、市の交通政策所管部局に相談しながら検討したいと思っております。また、助成については、何ができるかというところからになりますが、経営強化プランについては市立2病院の機能などについて検討するものと考えておりますので、助成制度については別のところでの検討になるかと思っております。

#### ◎土屋委員長

総合診療科について、既に大学病院には設置されているという話がありましたが、残念ながら日本では総合診療医を育成するカリキュラムがほとんど整備されていません。欧米では総合診療科のカリキュラムが作られており、内科、小児科、産科、外科と様々な科で研鑽を積み、総合診療医となります。日本でも総合診療科のニーズは高まっており、多くの診療科を設置することが難しいへき地や過疎地域では総合診療科の設置が望ましいところですが、そのニーズに合った総合診療医を育成する体制が整っていない状況です。

次に産科を総合医療センターに集約することについてですが、全国的にみて産科医が増加傾向にある一方、病院勤務医は増え、診療所の医師は減っています。これは病院への集約

が進んでいることとなります。産科は、入院、外来、分娩すべてに対応しようとする、分娩はいつ患者が来るかわからないので夜勤も必要ですし、働き方改革への対応も考えると最低 10 名の医師が必要です。医師を複数の医療機関に分散し、1 病院あたりの医師を減らすと、夜間の分娩に対応できる病院が無いという状態にもなりかねません。こういった点も踏まえて、集約、拠点化の議論をすべきです。また、医局派遣により医師を確保している場合は、医局との調整も重要です。

最後に、神奈川県は 2 次医療圏とは別に周産期医療圏や小児医療圏がありますが、それぞれエリア分けが異なります。派遣元になっている医局とも調整し、これら医療圏のエリア分けを統一することが理想だと思います。

#### ◎渡邊委員

人的資源を拠点化するために市民病院の産科を総合医療センターに集約することは理解できます。また、今後分娩が保険診療になった場合、分娩の場所として選択していくときに選ばれる病院にならないと、民間の病院に流れる可能性もあるので、集約をまずしておくというのはいいことかと思えます。ただ、今も、本当は市民病院でお産したいけど、市民病院が分娩を休止しているから出来ないという市民もいるかもしれません。そういった意味でも、先ほど山岸委員がおっしゃったように、総合医療センターとのアクセス面の不安を解消できる施策を考える必要があると思います。

小児科については、保護者のみなさんが一番困るのが、休日・夜間などの通常診療時間外だと思います。現状、市民病院の小児科は外来のみ実施していますが、救急、休日、夜間も小児科外来を受けていますか。仮に受けているのであれば、総合医療センターへの集約で診療日数が減ることは、市の西地区への影響が大きいです。

#### ○事務局

現在、市民病院の小児科は救急、休日、夜間の小児科外来を受け付けておりません。一次救急の救急医療センター、症状が重い場合はうわまち病院で受けております。総合医療センターになってもこれは変わりません。

#### ◎渡邊委員

総合診療科を設けることについて私も賛成ですが、まだ総合診療医が少ないという印象を持っていましたので、医師を確保できるなら、是非やってほしいと思います。

#### ◎三屋副委員長

人口が減少傾向にある中で、集約化は自然な流れです。産科、小児科とも総合医療センターに集約するという事務局の案に賛成です。問題は、先ほどから話が出ていますけれども、導線の確保です。また、総合診療科についてですが、新設することは賛成です。総合診療医を育成する体制が整っていない中で、市民病院の医師を早急に総合診療医に育てるとするのは難しいと思いますが、大学病院で総合診療医が増えてくれば、自ずと医局派遣もされるようになるかと思えます。一方、医療が高度化しているので専門医は今後も必要です。

#### ○事務局

ご意見いただきありがとうございます。三屋副委員長がおっしゃるように、人口が減少していく中、市立2病院体制をどのように活かしていくのかを考えるのも重要だと認識しています。今回は一部の診療科の集約化というお話をさせていただいておりますが、今後も患者需要などを注視したいと思います。また、何人もの委員のみなさまからご意見いただきましたアクセス面については、課題だと認識しております。市としても、アクセス面をより良くできないか検討しているところです。今後も引き続き検討していきたいと考えています。そして総合診療科については、臓器別の専門化が進んできている中で複数の疾患等により入院する患者をスムーズに受け入れられるよう、複数の診療科を横断的に診られるよう、地域のニーズに応えられるようにしたいという思いから、新設したいと考えております。

#### ◎土屋委員長

先ほど、山岸委員からアクセスのお話が出ましたが、急性期機能が縮小される市民病院がある西地区と、急性期機能が充実している病院との間のアクセスという意味では総合医療センター、横須賀共済病院がこれにあたると思います。本委員会は市立病院運営委員会なので、横須賀共済病院との連携については言及しませんが、アクセスというのは西地区と総合医療センターの間だけを指すものではないことを念頭に検討していただきたいと思います。

では、本日の委員からの意見をまとめます。総合診療科は是非、市民病院にも新設していただきたい。産科について、分娩や入院機能は総合医療センターに集約しつつも、妊婦健診などの外来は通院が必要となることから、遠距離の移動が患者の負担となるため、引き続き市民病院でも対応できるようにしていただきたい。ただし、現状の患者数が多くはないとのことなので、毎日ではなく、曜日を決めて診療を行うのがよろしいかと思われます。また、産後ケアも非常に重要な取り組みです。総合医療センターから看護師を派遣してでも、引き続き市民病院で実施していただきたいと思います。小児科については、入院機能を総合医療センターに集約し、外来機能は市民病院に残すという事務局案に賛成です。小児科の外来についても、現状、患者数が多くはないとのことですので、産科と同じ曜日だけ診療するなど、診療日数や曜日を臨機応変に決めていただければと思います。

### 3. 閉会

以上で議事が終了したので、委員長は11時00分に会議の閉会を宣した。

以上